

平成29年度行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	国立研究開発法人日本医療研究開発機構出資に必要な経費			担当部局庁	政策統括官(科学技術・イノベーション担当)	作成責任者	
事業開始年度	平成28年度	事業終了(予定)年度	平成28年度	担当課室	国立研究開発法人日本医療研究開発機構担当室	企画官 佐藤 伸樹	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な条項も記載)	国立研究開発法人日本医療研究開発機構法第16条			関係する計画、通知等	健康・医療戦略(平成26年7月22日閣議決定、平成29年2月17日一部変更) 医療分野研究開発推進計画(平成26年7月22日健康・医療戦略推進本部決定、平成29年2月17日一部変更)		
主要政策・施策	医療分野の研究開発関連、科学技術・イノベーション			主要経費	文教及び科学振興		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	革新的な新薬・医療機器の創出に向けて、産学官が連携して研究開発に取り組むため、リバーストランスレーショナルリサーチ(rTR)基盤の形成・強化、医療分野のオープンイノベーション基盤の形成・強化、医療分野の実用化開発を支援することを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①医薬品・医療機器・再生医療等製品・医療技術等の実用化に向けた研究開発に資する連携基盤の形成(人材育成を含む。)や共同利用設備の整備等の環境整備 ②産学連携・産産連携等、企業や大学等の様々な組合せの混成チームによる、医薬品・医療機器・再生医療等製品・医療技術等の実用化に向けた研究開発 ③シーズ(特許等)に基づく、産学連携の下に行われる医薬品・医療機器・再生医療等製品・医療技術等の実用化開発に係る提案を、国立研究開発法人日本医療研究開発機構(以下、「AMED」と言う。)が公募・審査し、優れた提案を支援する。						
実施方法	その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求	
	予算の状況	当初予算	-	-	0	-	-
		補正予算	-	-	55,000	-	-
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-
		予備費等	-	-	-	-	-
	計	0	0	55,000	0	0	
	執行額	0	0	55,000	-	-	
執行率(%)	-	-	100%	-	-		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	-	-	100%	-	-		
平成29・30年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由			
	-	-	-				
	-	-	-				
	-	-	-				
	-	-	-				
	計	-	-				

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	/	単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 39 年度		
	・成功終了率			・事後評価実施課題(累計)のうち、成功終了となった課題数(累計)の割合	成果実績	%	-	-	-	-	-
目標値			%		-	-	-	-	50		
達成度			%		-	-	-	-	-		
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	医療研究開発革新基盤創成事業(GiCLE)公募要領										
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		/	単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込		
	・各年度の開発費支出件数	活動実績		件	-	-	0	-	-		
		当初見込み	件	-	-	0	-	-			
単位当たり コスト	算出根拠		/	単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込			
	・年度当たりの開発費支出額/開発費支出件数	単位当たり コスト		百万円	-	-	0	-			
		計算式		/	-	-	0	-			
政策評価、経済・ 財政再生アクション・ プログラムとの関係	政策	-									
		施策	-								
	測定指標	定量的指標		/	単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度	
					実績値	-	-	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-	-		
		定性的指標	目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)						
					-	-					
					-	施策の進捗状況(実績)					
				-	-						
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
-											
改革項目	分野:	-	-								
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		/	単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
					成果実績	-	-	-	-	-	
					目標値	-	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	-		
	(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		/	単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
					成果実績	-	-	-	-	-	
		目標値	-		-	-	-	-			
		達成度	%	-	-	-	-	-			
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係											
-											

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	本事業は、未来への投資を実現する経済対策(平成28年8月2日閣議決定)として措置され、民間企業が単独で事業化することが困難な、開発リスクが高い課題等を対象に、国がリスクを負担し開発を支援する優先度の高い事業であり、国民や社会のニーズを的確に反映している。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	民間企業が単独で事業化することが困難な、開発リスクが高い課題等を対象に、国がリスクを負担し開発を支援する優先度の高い事業であり、地方自治体、民間等に委ねることができない事業である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	本事業は「未来への投資を実現する経済対策」(平成28年8月2日閣議決定)として措置され、民間企業が単独で事業化することが困難な、開発リスクが高い課題等を対象に、国がリスクを負担し開発を支援する優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	開発課題を広く公募で募集し、AMEDに設置された外部有識者からなる課題評価委員会により選定を行っている。	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無		
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	開発課題を広く公募で募集し、AMEDに設置された外部有識者からなる課題評価委員会により選定を行っており、受益者との負担関係は妥当である。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	開発課題を広く公募で募集し、AMEDに設置された外部有識者からなる課題評価委員会により選定を行っており、単位当たりコスト等の水準は妥当である。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	開発課題を広く公募で募集し、AMEDに設置された外部有識者からなる課題評価委員会により選定を行っており、合理的と認められる支出のみとなっている。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	開発課題を広く公募で募集し、AMEDに設置された外部有識者からなる課題評価委員会により選定を行っており、真に必要な費目・使途に限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	-		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	事業採択に当たっては、事業コストについて評価・調整している。採択後においても、事業の進捗に応じて、柔軟な予算配分の変更等を行うこととしている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-	
	所管府省名	事業番号		事業名
点検・改善結果	点検結果	本事業は、「未来への投資を実現する経済対策」(平成28年8月2日閣議決定)の趣旨に基づき、AMEDにおいて、民間企業が単独で事業化することが困難な、開発リスクが高い課題等を対象に、公募を行っているところである。開発実施に当たっては、AMEDに設置された外部有識者からなる課題評価委員会及びプログラム・スーパーバイザー(PS)・プログラム・オフィサー(PO)の指導・助言の下で実施することとしている。これらによる管理・チェックの下、効率的かつ有望な課題を支援していく体制となっている。		
	改善の方向性	AMEDが適切に民間企業等に支出・回収するよう事業管理に努める。		

外部有識者の所見

点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

終了
予定

今後、同種の事業を実施する場合、当業務を通じて得られた知見を基に効果的・効率的な予算要求及び予算執行を行うこと。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

予
定
了
通
り

今後、同種の事業を実施する場合、当業務を通じて得られた知見を基に効果的・効率的な予算要求及び予算執行を行うこととする。

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-		
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	-		
平成28年度	-						

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

内閣府

【出資】
平成28年度 55,000百万円

A.国立研究開発法人
日本医療研究開発機構
国立研究開発法人日本医療研究開発機構出資に必要な経費
(医療研究開発革新基盤創成事業)

【前年度残高】0百万円

【収入】	【支出】
出資:55,000	事業費:-(※)
合計:55,000	合計: -

【7年度残高】0百万円

実用化開発等を実施する民間企業等に開発費を支出

委託【随意契約(企画競争)】
平成28年度 -百万円(※)

B.民間企業等

国立研究開発法人日本医療研究開発機構より委託を受け、大学等の革新的技術を用いた企業等が行う実用化開発等を実施。優れた課題を採択するため公募を実施し、順次課題を採択することとしているところ。

※ 本事業は競争環境にある企業等主体の研究開発というフェーズへの支援であり、広く公表することにより開発規模が社会に伝わることで競争上著しく不利になるおそれがあり、開発に支障を来すおそれがあることから、支出額は非公表。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

